

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し  
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三百月前金一圓五十錢○六箇月前金三  
圓○一箇月前金六圓○一月間休刊  
時事新報社ヨリ直擣ニ郵便スルコノハ右定價ノ外ニ 一箇月十三錢の  
倍送料ヲ加セ

時事新報

時事新報  
本社へ寄稿に付  
を始め各府縣に通信社によるものわりて是より  
に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を  
より各社同一の記事を掲ぐるふと寡からず獨  
報社は社員並に通信員の多さを以て斯類の社  
哉無せど雖も世間往々此事を知らずして通  
へ報道すれば本社にも其報道は達する事を信  
きが如し爲めに行進ひを生じたる場合も寡か  
本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に  
け發送あらんとを請ふ

## 五日朝鮮の京城に於ける大時世間の耳目を驚かしたる

報道を見るに變の事實は相違なきも其顛末は頗る陳述し是れは自分等の態度に非ず畢竟民黨の輩が平素て之を獸々に付せざるのみか大に論鋒を銳くして政府に迫るふとならん其時に至りて當局の人が細々事情を陳述し是れは自分等の態度に非ず畢竟民黨の輩が平素て之を獸々に付せざるのみか大に論鋒を銳くして政府にして斯くて折る夫體て立至りしものなりて道理と分けて

卷之三

辨解するも其辨解は何の役にも立つ可らず如何となれば苟も國權の伸縮に關係すると、あれば一般の民心も必ず激昂して政府の處置を咎む可きが故に民黨の人々は之を好機會と爲し平生の言行などには頗着せず其民心を後楯として大舉して反對を試みるふと必然なればなり世界各國の事例を見るに政府の當局者が外國に對する處置を誤りたる爲め失敗したるの談は一にして足らず佛國のフェリー内閣が彼の東京事件の爲めに失敗したるが如きは最近の滴例にして蓋し外國との關係は内の人心を動かす最も大なるものなるが故に其政略に一着を誤るとさは如何なる大政治家と雖も民心の反動激昂に對して技倅を遣ふするふと能はざるものと知る可し今や朝鮮の形勢は甚だ危急にして朝夕を煩られる所なり明治政府は内に不人望を極めて非難の點も少なくからざれども創立以來日尙ほ浅くして當局の心身はは因循緩慢なるふと斯の如し我輩の不安心に堪へざる所なり明治政府は内に不人望を極めて非難の點も少く若しも一旦對外の政略を誤りて不慮の不覺を取り全国民心の激昂を招くときは其基礎も頗る可らずして意外の失敗なしと云ふ可らず單に政府の利害の爲めに謀るも我國の東洋政略即ち朝鮮に對するの方略は決して今日の儘に安んず可らざるなり

11

は吾々の身に難有り仕合せなりとて輕からぬ病氣の身にて長時間起臥左右の疲勞をも苦にせず涙を躊躇して喜ぶもの多しと云ふ素より俗見に外ならざれども人情に於て堪へ難き處なれば試験の爲めとあれば止むを得ざるも成る可くは手輕き病症を撰むか又は診察の度數を少くして病人を勞せしめざるの工風はあるまじきやど或る人の物語り

○露國海軍の費用 近着の米國新聞紙に云く我が亞米利加合衆國にては飢之に苦み居る露國幾百萬の民の爲めに食料を集め之を無運賃にて送届けんと奔走し居る最もに露國政府は其幾百萬の飢民をして各自皆安樂に暮さしむる所の金額よりは尙ほ一層大なる費用を海軍費に加へんとする用意最中なり同政府は向後四年の間に廿二艘の新軍艦を造らんとの金を起したり即ち新造船の軍艦はブルトーワ、ペツロボーログスキ一及びセガズアストボールの三甲鐵艦、各々の排水一千一千噸にして一艘の價百二十三萬零五百磅、又排水八千八百八十九百三十七磅、甲鐵海防艦二艘れの／＼排水四千噸、嶺の甲鐵艦一艘のみの價八十九萬四千三百七十五磅、甲鐵巡洋艦一艘、排水噸數は一萬にして價は九十六萬五磅七萬五千磅、報知艦一艘二十二萬五千磅、同一艘十五萬磅、及び上等の水雷艇十艘なり左れば露國政府は本国の人民が他國人民の慈善金を仰ぎ居る間に三千萬弗以上（一磅は凡そ金五弗）の金を軍事に費す者なり云々たゞ

同二十二年  
同二十三年  
一、四八九、〇

○貧民の施療 は有志者の寄附又は政府の筋の補助を以て病院を設け入院する者へ醫藥の手當は勿論衣食までも無代價にて給せらるしは誠に難有き仕合なれども一方より見れば貧民も亦自から憤り所なきに非ず内務省の醫術開業試験は近年ます、高尙精密に進み學說難間の外に實地の患者診斷の當否を試るふと爲りて其試診用に供するものを求るに尋常の病家にて大切な病人を双紙同様にするは固より承諾す可さに非ざれば貧病院と協議して試験中適宜の病人を借用するふとに定め開業試験の期に至り當局試験人の鑑定にて此病人をと指名すれば病院は必ず之に應じて拒む可らざるの内約あり東京にては本郷の大學生病院、本所の養育院、芝の慈惠病院の三ヶ所より試験品を出すの慣例にして病人の中にも成る可く難症にて診斷に疑の生し易きものを擇び之を釣臺などに乗せて試験場に持込み受験者の前に呈出すれば受験者はふゞ乎平生の技倅を現はす處なりと一生懸命に之を視察し打診聽診、左よりし右よりし脅腹の部既に終れば又起坐せしめて背部を窺ふ等殆んど遺す所なきに至りて止み乃ち新手を引十分即ち二時半と十分間は同様の打診接觸を受けて替へて診察前の如し假りに一名の試診時間を十分間として一人の患者を十六名の試験に供するとはすれば百六十回に及ぶ等試験十六回なれば十六回の横臥し起坐し右にせられ左にせられて之に堪へざる可らず殊に外科症の診察に於ては或は腫物の膿汁を取り創口に消毒子を抜挿する等試験十六回なれば十六回の抜挿に病人は毎回顔色を變じて我慢する其様子は假分ひ醫師の學說に於て無害の保證ある可きも素人の目は俗にして之を見るに忍びず尙ほ之よりも憤む可きは貧民の無知無識なる身は試験の双紙に供せられて清書の爲めとは知らず醫薬衣食の手當さへ十分なる其上に斯くも名譽先生の方々が入代り立代りて丁寧なる診察と

○アルミニウム製の船

○南京蟲驅除法 兵庫縣神戸市内に於て近來南京蟲と稱ふる蟻の発生し漸次繁殖蔓延の状あり今にして之を驅除せんば其害延きて全縣下に及ばんとするに付タ同縣廳にては左の方法により速に驅除し其害に罹らざる様注意方を告諭したりと云ふ

　　南京 蟻

一名稱床蟲又は壁蟲或は奥蟲と云ひ俗謂之を南京蟲と稱す觸節動物にして六脚蟲類の内半翅族に属するものなり

一性狀 床蟲は赤褐色にして其大きさ四力至六ミリメートルなる長圓形扁平なる體にして支を有せず腹に其跡を背面に認むるのみ全身密に細毛を掩ひ六脚を有し腹は八輪より形成し頭上四節より成る一型の感角を備へ口よりは強アルカリ性的の唾液を分泌しそに由りて人咬傷を受けるときは皮上疹を發生す又後脚の間により分泌する液ありて一輪の繩狀すこへ虫咬液を放散す此の名より壁蟲は三月五月七月九月迄に於て毎回五十箇餘の卵を産し其卵は來年を持たずして孵化して冬に至れば蟻居して翌年の暖を待ちて再び活動を初むと云ふ然れど蟲は冬未く給食匂寒に堪へ六月月間無食なるも死するまことなく其死日光を恐れ晝間は屋間床間等に潜伏し夜に入れば出でて人を咬刺すて一輪の血液を吮ふものなり若し人眼に誤りときは人の蒸發氣に惹か天井並に床に附着し人血を吮ふと云ふ人若し其蟲の咬刺を察するときは即ち其部皮膚亦赤腫を發するのみならず甚しきときは化膿と潰瘍に陥りまた人を構ますに至る

一所在 説蟲の生産地は元東印度なれども今は諸邦に蔓延し全世界に之を見るに云ふ多くは貧民の家庭及不潔にして多人群居の場所に名ふ

一治療法 咳剤を受けたときは速に砂糖漬を以て其部を洗浄すべし

一驅除法 物置を殺滅するには從來數多方法あり今其主要なる一二を擧ぐれば左の如し

一烟草浸液(半倍) 一麻油(石炭油) 一ナレピン油(石炭油各等分のもの一インセクト ボーダー)(一名陰蟲粉又取粉) 一薄板浸液(二五倍) 一熱湯

一警防法 蟻の駆除法を行ふには左の方法に據るべし

一室内では必ず清潔にすべし 一該蟲の清潔なる堅床板等の周縁には前記薬用品を撒け又は敷布すべし 一天半床板は熱湯を溼くべし

一蟲其他廢物等は其裏面或は縫隙にナレピン油(石炭油等分のもの)を溼すべし 一疊又は古道具を買入れたときは前記駆除法を施行する

一若し熱湯を注ぐべし 一部を發見したときは之を破壊せしめは時々

りと 留すべし

○暑中休暇間の裁判事務 東京地方裁判所に於ては暑中休暇中は急訴に關する事務の外は一切受理せずして民事は一部文書開廷し又刑事は二部文書開廷する等なりと

卷之三

同二十四年一、八四三、六  
右の如き進歩にして昨  
なる去る十五年の總金額  
増加なるを以て今二十  
は二百餘萬圓に上るべ  
斯くマツチを以て二百  
事を見ば我政府はマツ  
注意とを與ふべし筈を  
於てマツチの製造を初  
は實に將來の一大勁敵  
の一層其保護と注意  
のは一層其保護と注意  
の議を免れざる事  
欠くの議を免れざる事  
地方に在ては其供給ヲ  
仕入るものなれども  
して通過するもの幸ひ  
左までの金額に上  
輸出の上に至大の關係  
なりとて輕々に看過す  
ソチとならざる彼の原  
據をなさば終にはの  
條約面に於て無法に當  
材及び材類にして既に  
日本と英國の木船等  
ガードヤンは左の如  
泰者との爲め玆に掲ぐ  
日本市場に於ける我英  
は是よりも一層大切な  
の競争者として自國  
ず東洋に於ける他の貿